

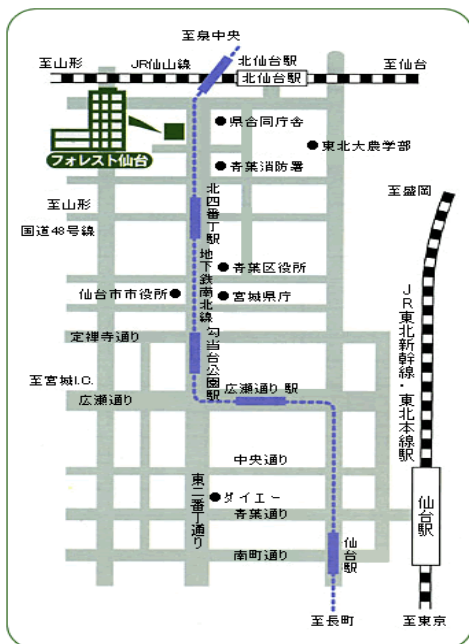
第31回東北神経心理懇話会 プログラム

日時 令和2年2月8日(土)午後1時15分～

場所 フォレスト仙台<フォレストホール>

宮城県仙台市青葉区柏木一丁目2-45 ☎981-0933 ☎022-271-9340

会長 鈴木 匡子 東北大学大学院高次機能障害学分野



*タクシー

JR仙台駅より約10分

*地下鉄

「北四番丁駅」下車「北2出口」より徒歩約7分

*JR

JR仙山線「北仙台駅」下車徒歩約10分

*バス(仙台駅西口バスプール)

仙台市営バスのりば 13番・14番

宮城交通バスのりば 4番・6番

北仙台方面行きに乗り「堤通雨宮町」下車徒歩2分

*駐車場 有料…30分毎100円

《事前参加申し込みは不要です》

会場整理費：一般 3,000 円、学生 1,000 円

当日受付でお支払いください

セッション1～セッション3の口演時間 …… 討論を含めて1題 20分(概ね発表 12分、質疑応答 8分)

開会(13:15)

北大学大学院高次機能障害学分野 鈴木 匡子

セッション1(13:20～14:20)

座長 清山会いずみの杜診療所 松田 実

1. 進行性非流暢性失語における反響言語の検討

○太田祥子¹⁾ 菅野重範¹⁾ 森田亜由美²⁾ 成田 渉¹⁾ 川上暢子¹⁾ 柿沼一雄¹⁾
齋藤裕美子¹⁾ 小林絵礼奈¹⁾ 遠藤佳子²⁾ 鈴木匡子¹⁾

¹⁾ 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 ²⁾ 東北大学病院リハビリテーション部

2. 特異な語性錯語を呈した多発性硬化症の一例

○目黒祐子¹⁾ 藤森寿一²⁾ 中村一郎²⁾

¹⁾ 東北薬科医科大学病院リハビリテーション部言語心理部門 ²⁾ 東北医科薬科大学老年神経内科

3. Logoclonia(語間代)の障害メカニズム

○中川良尚¹⁾ 船山道隆²⁾ 笹嶋侑子¹⁾ 近藤郁江¹⁾ 岩佐香菜美¹⁾ 原 未来¹⁾
木下結理¹⁾ 佐野洋子¹⁾ 山谷洋子³⁾ 加藤正弘³⁾

¹⁾ 江戸川病院リハビリテーション科 ²⁾ 足利赤十字病院神経精神科 ³⁾ 江戸川病院神経内科

セッション2 (14:20~15:00)

座長 北海道医療大学 中川 賀嗣

4. 間違っことを言いながら、同時に正しく書いた一例

○藤井正純¹⁾ 二村美也子²⁾ 小林俊輔³⁾ 蛭田 亮¹⁾ 齋藤 清¹⁾

¹⁾ 福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座

²⁾ 福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター ³⁾ 福島県立医科大学脳神経内科学講座

5. 自閉スペクトラム症者にみられる運動のぎこちなさと皮質内抑制機能の変化

○梅沢侑実¹⁾ 松島佳苗²⁾ 渥美剛史^{1, 3)} 加藤寿宏⁴⁾ 深津玲子¹⁾ 和田 真¹⁾
井手正和¹⁾

¹⁾ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部

²⁾ 関西医科大学リハビリテーション医学講座 ³⁾ 杏林大学医学部病態生理学教室

⁴⁾ 京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻

休 憩 (15:00~15:20)

セッション3 (15:20~16:20)

座長 秋田県立リハビリ・精神医療センター 下村 辰雄

6. 高次脳機能障害への Internet of Things (IoT) の活用

- リハビリテーションの可能性について -

○中島明日佳¹⁾ 船山道隆²⁾ 中村智之¹⁾ 稲葉貴恵¹⁾

¹⁾ 足利赤十字病院リハビリテーション科 ²⁾ 同 神経精神科

7. 両側頭頂後頭葉損傷後、バリエーション症候群と allocentric neglect を呈した一例

- 統覚型視覚失認と見間違い臨床像 -

○佐藤伊久生¹⁾ 牛渡 彩²⁾ 黒澤早月²⁾ 佐藤睦子¹⁾ 佐藤俊輔³⁾ 後藤博美³⁾

¹⁾ 総合南東北病院神経心理学研究部門 ²⁾ 南東北第二病院 ³⁾ 総合南東北病院脳神経外科

8. 新規の相貌認知に障害を認めた90歳、女性例

○石原健司 金子清佳 福井康仁 高橋伸佳 旭 俊臣
旭神経内科リハビリテーション病院

休 憩 (16:20~16:40)

特別講演 (16:40~17:40)

座長 東北大学大学院高次脳機能障害学 鈴木 匡子

脳内のイメージに魅せられて

足利赤十字病院神経精神科 部長 船山 道隆 先生

閉会 (17:40)

東北福祉大学健康科学部 藤井 俊勝